

調査結果のあらまし

森林とその周辺

二次林・植林地

- ・額田地域の森林は、ほとんどが人工林か、アカマツやコナラを主体とする二次林となっています。
- ・これらの森林や林縁部では、多様な動植物の生息・生育環境が形成されています。

【主な動植物】 ササユリ（旧額田町の花）
エビネ、キンランなどのラン類
シリブカガシ（県内では額田地域にのみ生育）
テン、カモシカなどの哺乳類
オオタカなどの猛禽類
コマドリ、アカハラなどの樹林性鳥類
オオゴキブリ、ミヤマカラスアゲハなどの昆虫類



- ・しかし、間伐などの手入れ不足による森林の荒廃や園芸目的の採取による影響が懸念されています。
- ・このため、ササユリの保護活動や「おおだの森」での里山保全活動などが地元住民や小学校により各地で進められており、今後これらの活動の広がりが期待されます。

自然植生

- ・額田地域は暖温帯に属し、自然植生として常緑広葉樹林が優占する地域であり、閨苅溪谷や各地に点在するシイ・カシ林及び社寺林に、その片鱗が見られます。

【主な動植物】 シロバイ（県内では額田地域にのみ生育）
ムササビ、フクロウ類

里地里山

- ・林縁部では、谷戸田など人と自然のかかわりあいの中で形成されてきた里地里山が見られます。
- ・これらの環境を維持するためには、人による適切な管理が必要です。

【主な動植物】 マツムシソウ、キキョウなどの草地性の植物
ウラギンヒョウモン、オオムラサキなどの昆虫類

水 辺

河 川

- ・額田地域内の主な河川は乙川と男川で、豊かな水源林を有し、良好な水質を維持しています。
- ・これらの河川やその支流では、多様な動植物の生息・生育環境が形成されています。

【主な動植物】 ネコギギ（国指定天然記念物）などの魚類
カワネズミ、カヤネズミなどの哺乳類
ヤマセミ、カワガラスなどの鳥類
カジカガエル（美しい声で鳴く）
グンバイトンボ、ナベブタムシなどの昆虫類
ゲンジボタル（市指定天然記念物）



ため池・水田など

- ・ため池改修や農地整備がなされてきましたが、山間部では比較的良好な環境が維持されています。
- ・一部のため池にはオオクチバスなどの外来魚が生息しており、在来種への影響が懸念されます。

【主な動植物】 コウホネなどの水草
メダカ、アカハライモリ、タガメなどの水生動物

湿 地

- ・湿地は、小規模なものがわずかに見られる程度ですが、希少な動植物が生息・生育しています。
- ・一部の放棄水田は湿地状になり、多様な動植物の生息・生育環境が形成されています。

【主な動植物】 サクラバハシノキ、カザグルマ、サギソウなどの湿地性植物
ホトケドジョウ、ヒメタイコウチなどの湿地性動物